追補版

SUZUKI サービスマニュアル

DR250R

DR250RV

概要 **車歴**

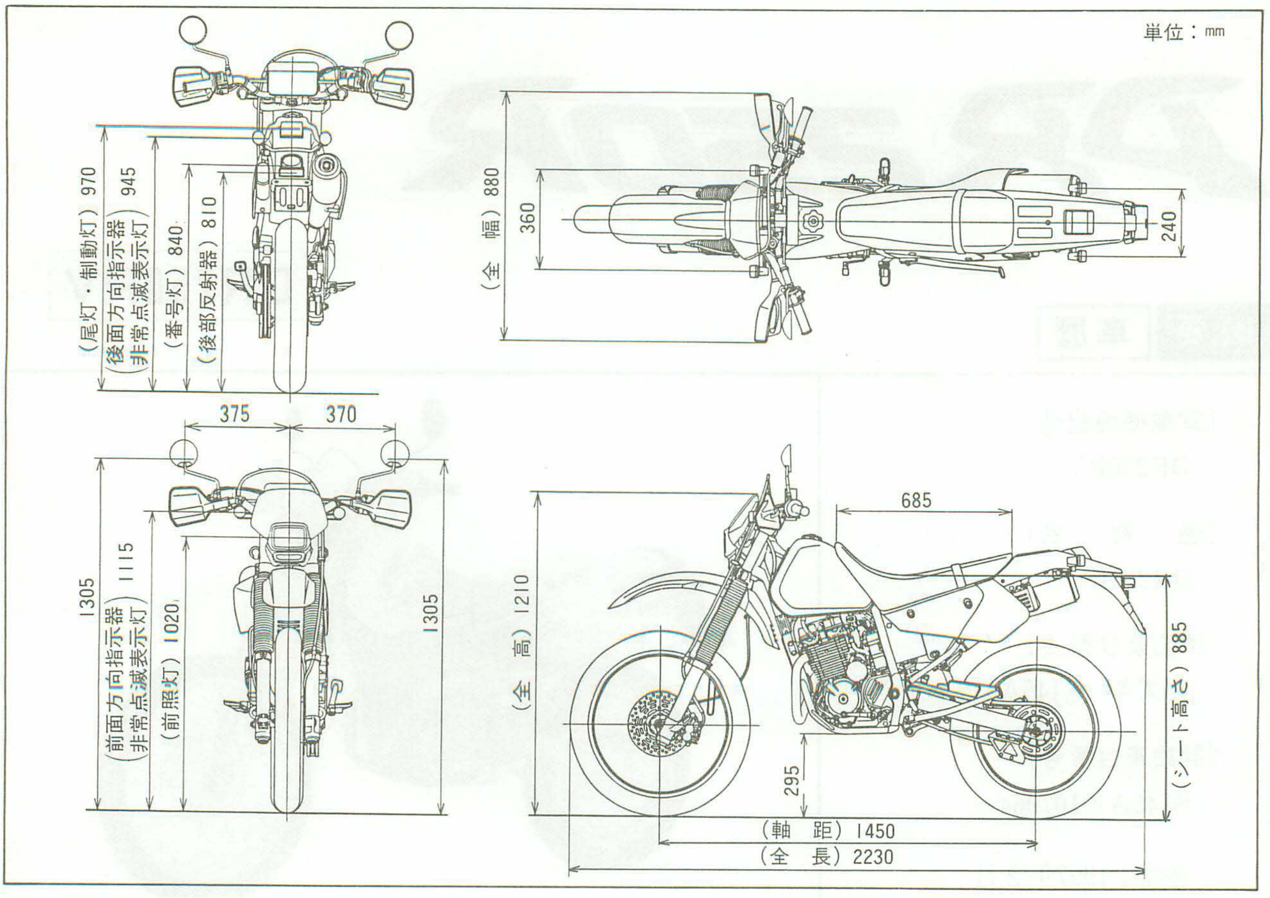
〔営業機種記号〕 DR250RV 〔通　称　名〕 DR250R 〔車名及び型式〕 スズキ　SJ45A 〔開始車台番号〕 SJ45A－107064～ 発売：1997年２月	

DR250RTとの主な相違点

- クラッチスイッチを装備しました。
- スタータモータ作動時ヘッドランプ消灯機能追加のため右側ハンドルのスタータスイッチを変更しました。
- ステアリングロックをイグニッションスイッチ一体式より別体式に変更しました。
- ヘッドランプを60/55Wに変更しました。
- ヘッドランプカバーの形状を変更しました。
- フットレストを幅の広いものに変更しました。
- リヤビューミラーを変更しました。
- デカールを変更しました。
- 類別を021としました。

この追補版はDR250RTとの主な相違点を記載しました。これ以外の部分についてはDR250RTのサービスマニュアルを参照してください。

外観四面図：DR250RV



主要諸元

営業機種記号		＊　DR250RV	
通称名		DR250R	
認定番号		II-208	
車名及び型式		スズキ SJ45A	
自動車等の種別		軽（二輪）	
軸距		1.450	m
原動機の型式		J425	
総排気量		0.249	ℓ
類別		＊　021	
長さ		2.230	m
幅		0.880	m
高さ		＊　1.210	m
車両重量	前軸重	60	kg
	後軸重	66	kg
	計	126	kg

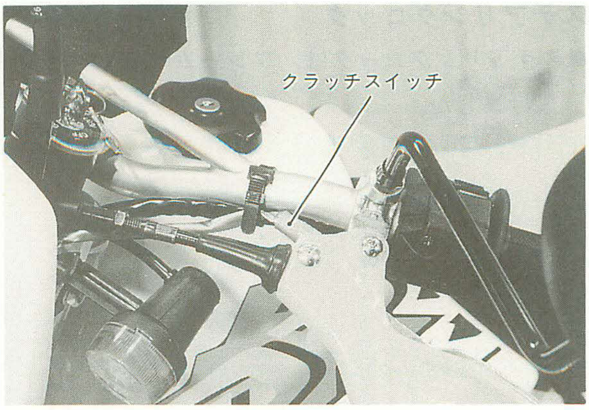
乗車定員		2	人
車両総重量	前軸重	87	kg
	後軸重	149	kg
	計	236	kg
灯火装置等	前照灯	＊　60/55	W

＊はDR250RTとの相違箇所を示す。

解説

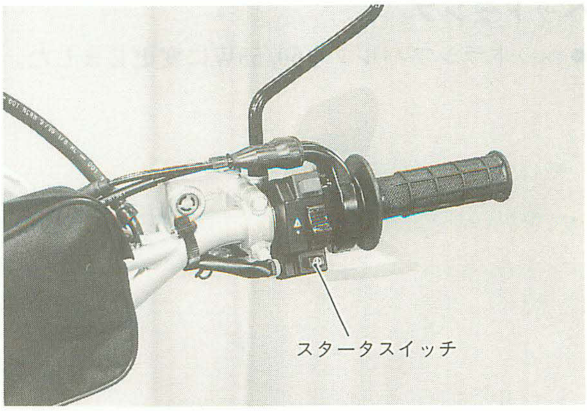
クラッチスイッチ

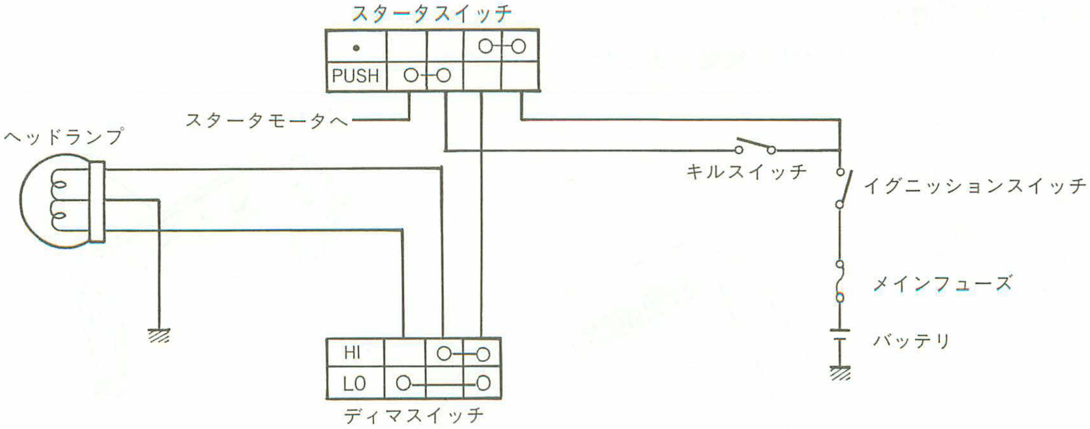
- 安全性向上の為に，クラッチスイッチを設けました。
- 通常はOFFの状態で，クラッチレバーを握るとONになります。
- ギヤポジションにかかわらず（ニュートラルの時でも），クラッチレバーを握らなければスタータモータが回りません。



スタータスイッチ

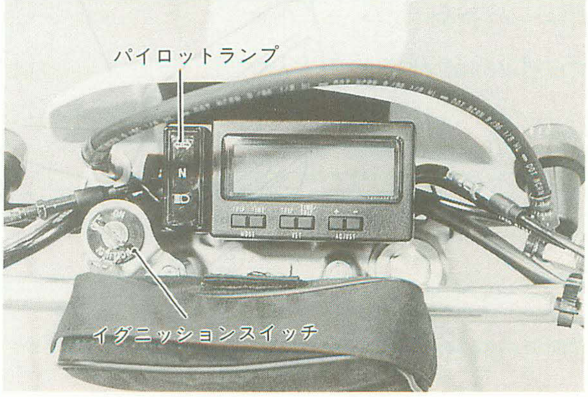
- スタータモータ作動時ヘッドランプ消灯機能追加のため，スタータスイッチをONにするとヘッドランプへの電流をカットします。





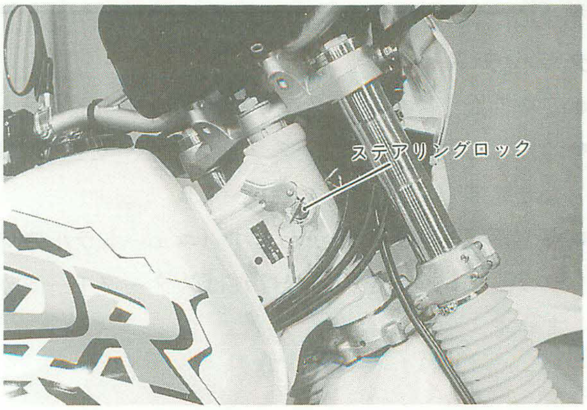
イグニッションスイッチ及びパイロットランプ

- ステアリングロックをイグニッションスイッチ一体式より別体式に変更のためイグニッションスイッチ及び，パイロットランプの取付位置を変更しました。



ステアリングロック

●ステアリングロックは，フレームヘッドパイプ右側に設けました。



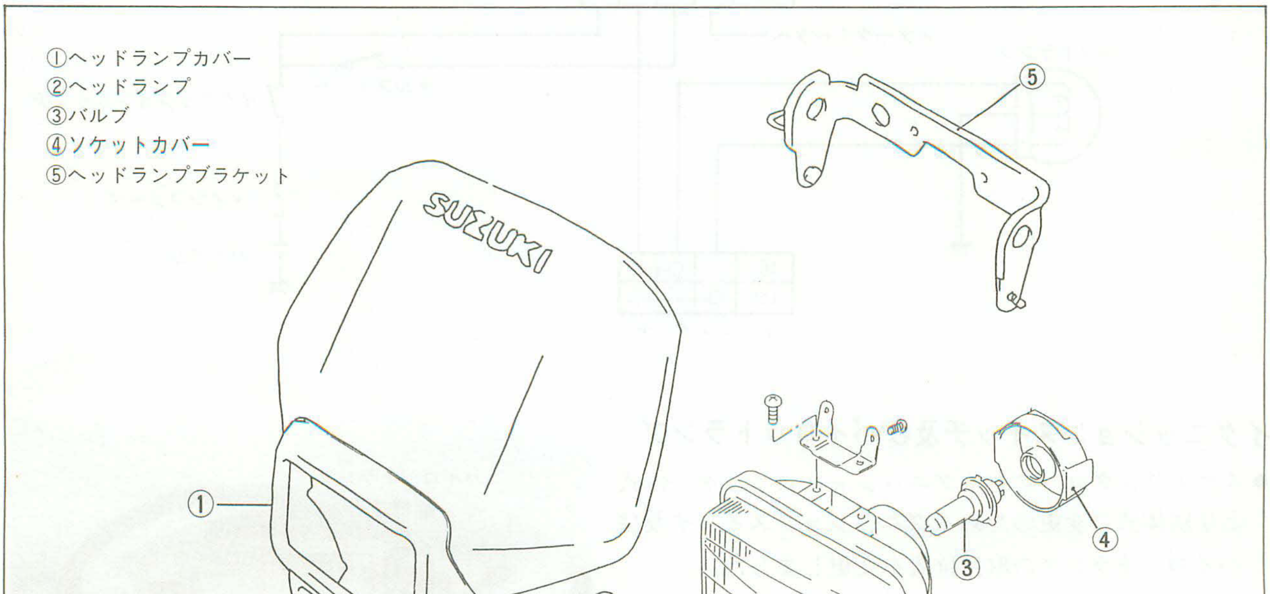
ヘッドランプ

●ヘッドランプバルブを60/55Wに変更しました。



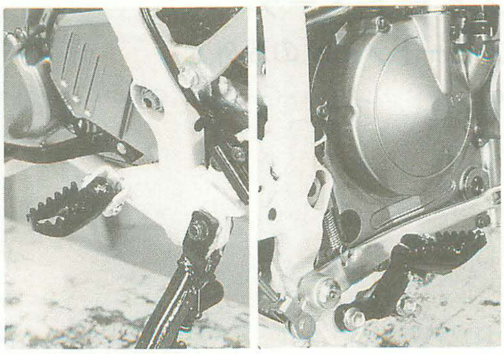
ヘッドランプカバー

●ヘッドランプカバーの形状を変更しました。



フットレスト

●左右のフットレストをワイドサイズのものに変更しました。



点検調整

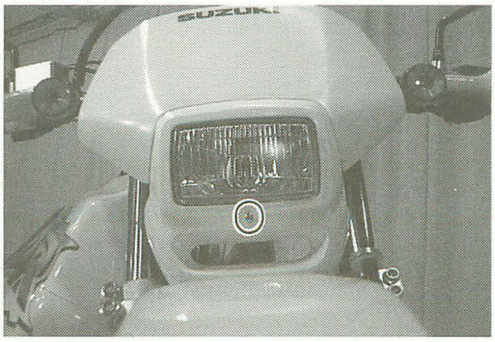
ヘッドランプの照射位置調整

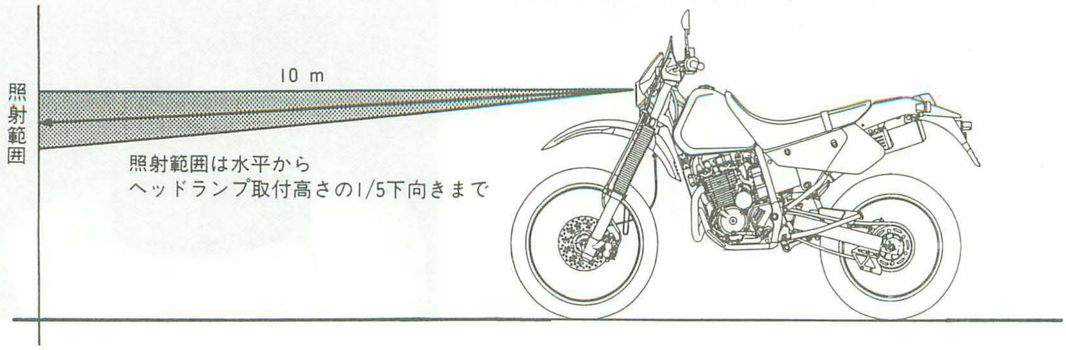
●上下調整

ヘッドランプ下側の調整スクリュ Ⓐ を緩めて照射位置を調整する。

・スクリュを締めると上側に向く。

・スクリュを緩めると下側に向く。





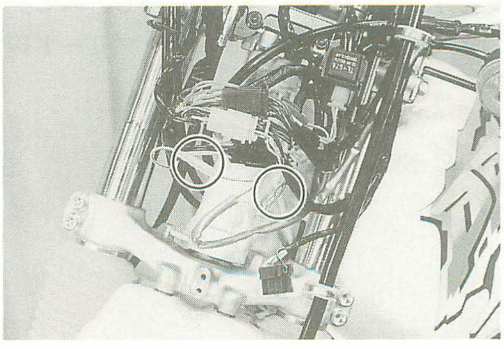
電装

始動装置

クラッチスイッチの点検

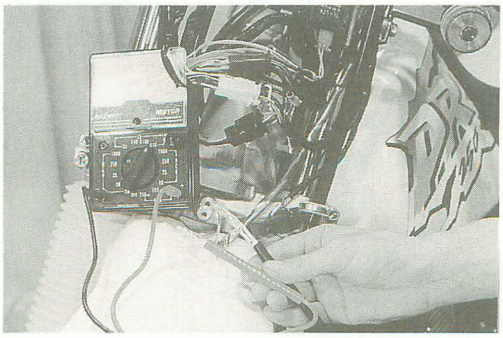
●ヘッドランプカバーを外す。(☞DR250RV　6ページ参照)

●ワイヤハーネスカバーを外す。



●クラッチスイッチギボシを外し端子間の導通を点検する。

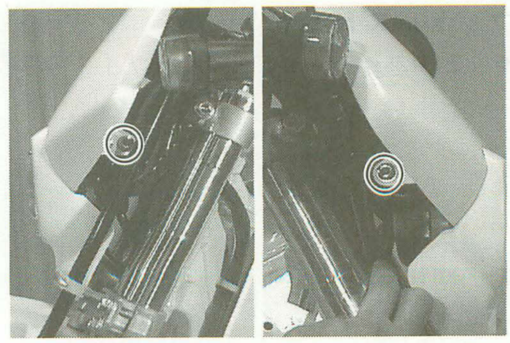
●クラッチを握ったときに導通がない場合及びクラッチを握らないときに導通がある場合はクラッチスイッチを交換する。



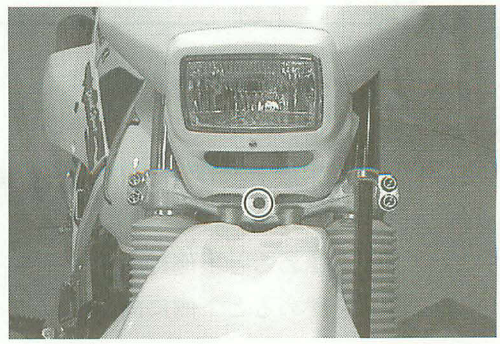
スピードメータ

スピードメータの取外し

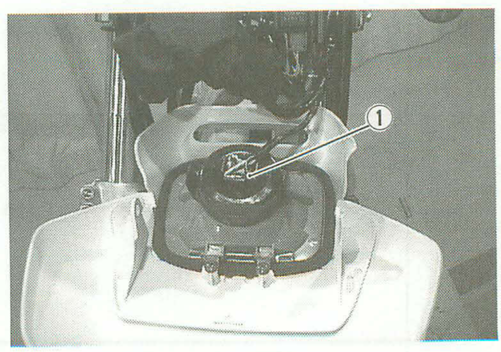
●ヘッドランプカバーの左右のナットを外す。



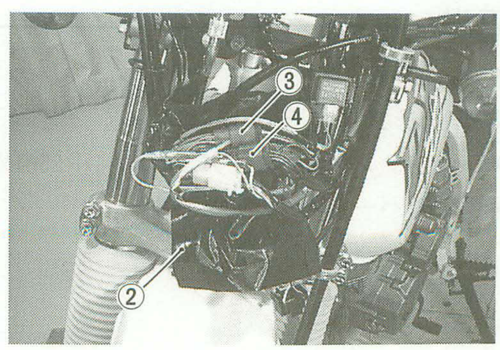
●スクリュを外しヘッドランプカバーをブラケットより外す。



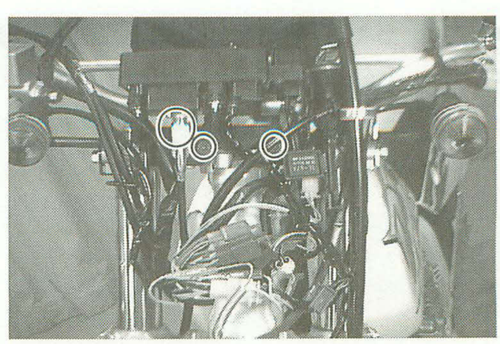
●ヘッドランプソケット①を外しヘッドランプを取り外す。



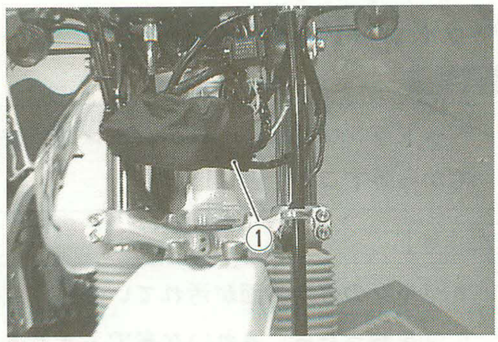
●ワイヤハーネスカバー②を外し，スピードメータリード線カプラ③及び，パイロットランプリード線カプラ④を外す。



●スピードメータケーブル及びスピードメータブラケットのボルトを外し，スピードメータを取り外す。



スピードメータの取付け



●スピードメータの取り付けは取り外しの逆の順序で行なうが次の点に注意して作業すること。

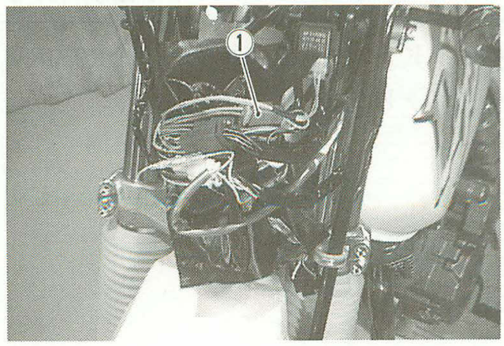
⚠注意

> **ワイヤハーネスカバー①から，カプラがはみ出さないように確実にかぶせること。**

●ヘッドランプを取り外したときは組立後ヘッドランプの照射位置調整を行うこと。(☞DR250RV 5ページ参照)

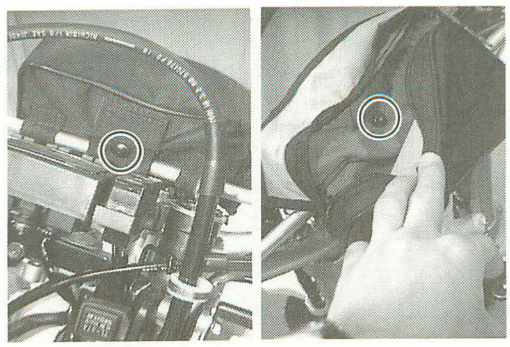
イグニッションスイッチ

イグニッションスイッチの取外し



●ヘッドランプを外す。(☞DR250RV 6ページ参照)

●ワイヤハーネスカバーを外し，イグニッションスイッチリド線カプラ①を外す。



●マニュアルバックを取り外す。



●ハンドルバークランプボルトを外しクランプを取り外す。

●イグニッションスイッチを取り外す。

イグニッションスイッチの取付け



●イグニッションスイッチの取り付けは，取り外しの逆の順序で行なうが次の点に注意して作業すること。

●イグニッションスイッチを取り付ける。ハンドルバークランプボルトは規定トルクで締め付けること。

ハンドルバークランプボルト：26N･m {2.7kgf･m}

●ヘッドランプを取り外したときは組立て後ヘッドランプの照射位置調整を行なうこと。(☞DR250RV 5ページ参照)

ヘッドランプ

ヘッドランプバルブの取外し

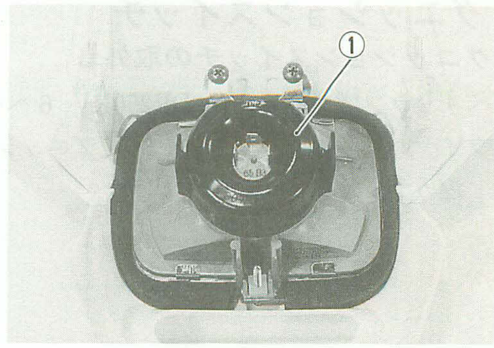
⚠注意

ヘッドランプには，ハロゲンランプが使用されており，点灯時，特に高温となるので，バルブが冷えてから外すこと。

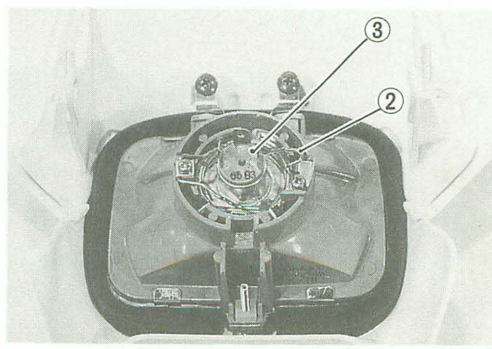
⚠注意

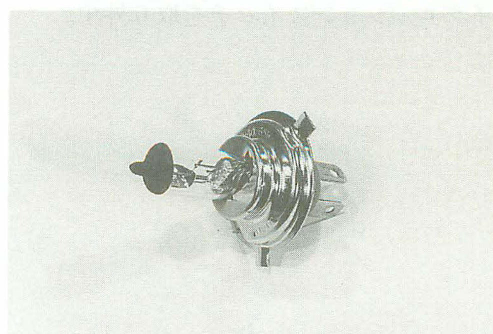
- バルブのガラス面が汚れていると，点灯時バルブの破損の原因となることがある。もし素手でバルブを触ったら，きれいな布でふきとること。
- バルブは指定されたワット数以外のものを使用しないこと。

- ヘッドランプを取り外す。(☞DR250RV 6ページ参照)
- ソケットカバー①を外す。

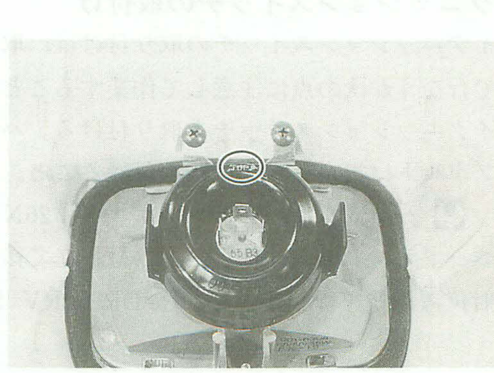


- バルブストッパ②を外しヘッドランプバルブ③を外す。

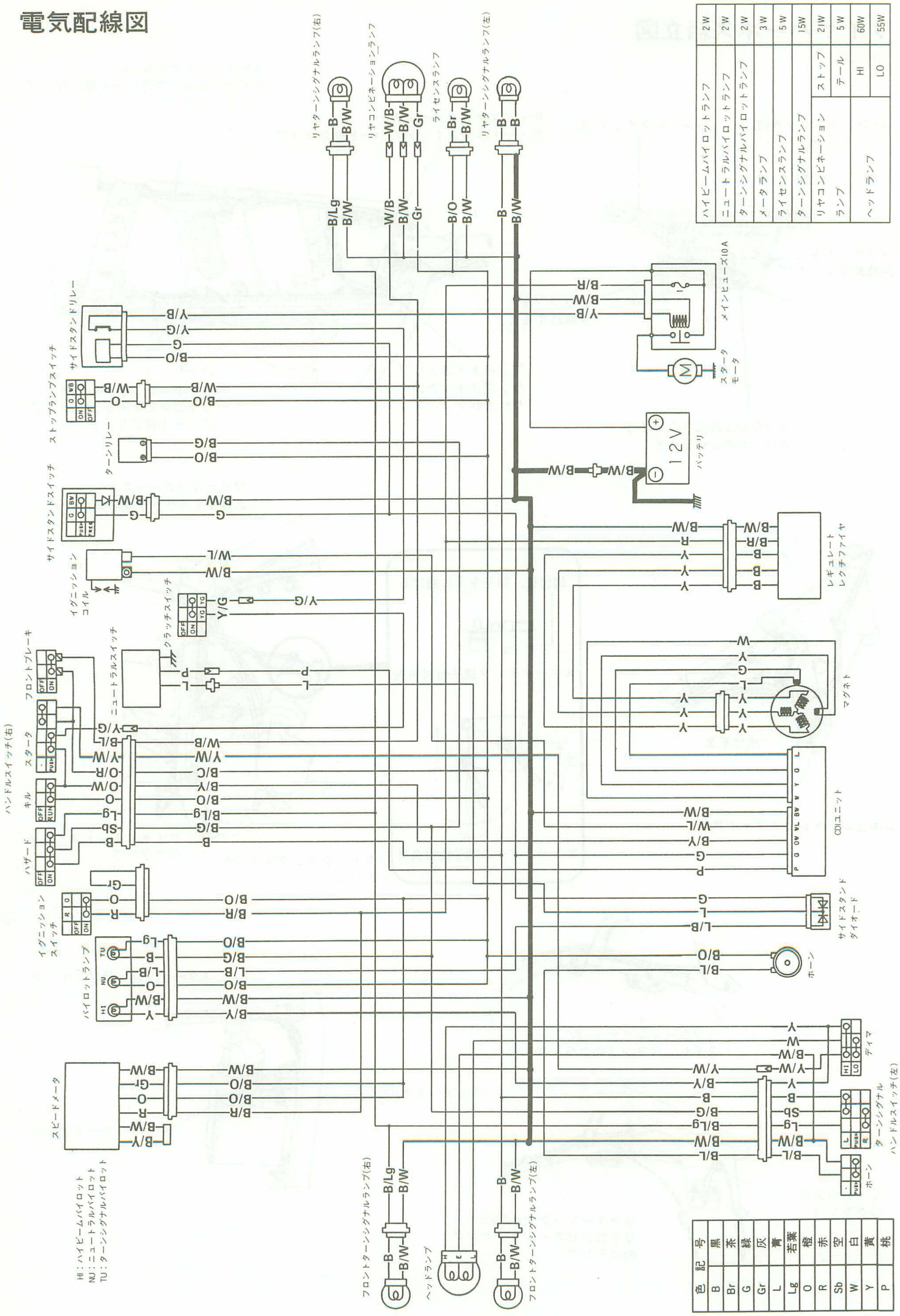




- ヘッドランプバルブの組付けは，逆の順序で行うこと。
- ソケットカバーはTOPの文字を上にして組み立てる。
- ヘッドランプを取り外したときは組み立て後ヘッドランプの照射位置調整を行なうこと。(☞DR250RV 5ページ参照)



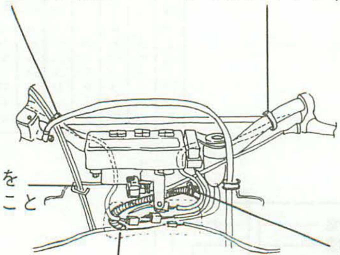
電気配線図

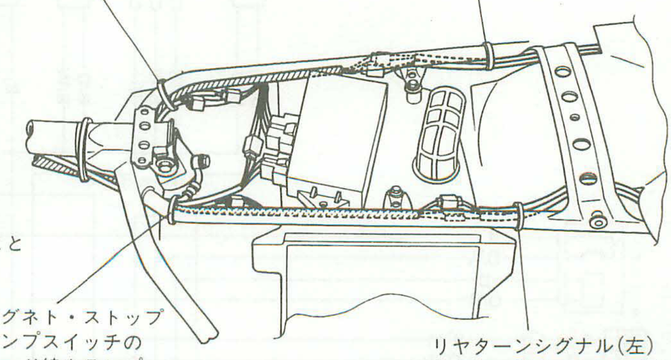


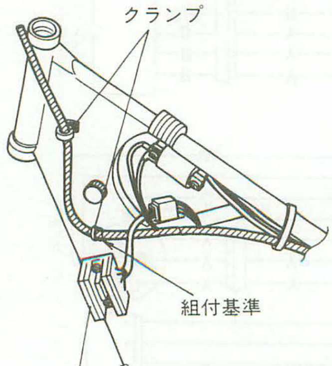
ハイビームパイロットランプ		2W
ニュートラルパイロットランプ		2W
ターンシグナルパイロットランプ		2W
メータランプ		3W
ライセンスランプ		5W
ターンシグナルランプ		15W
リヤコンビネーションランプ	ストップ	21W
	テール	5W
ヘッドランプ	HI	60W
	LO	55W

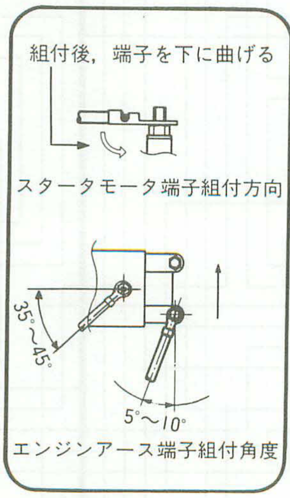
色	記号
B	黒
Br	茶
G	緑
Gr	灰
L	青
Lg	若葉
O	橙
R	赤
Sb	空
W	白
Y	黄
P	桃

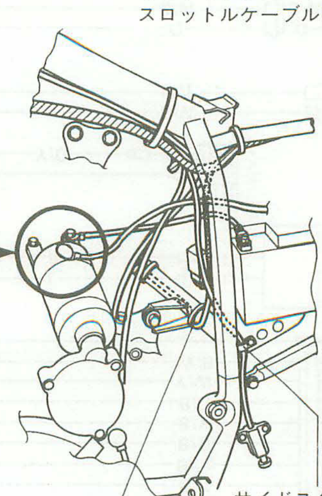
ワイヤハーネス組立図

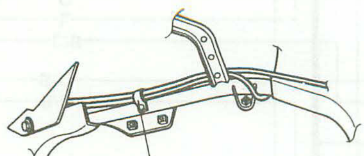

ハンドルスイッチ(右)
ハンドルスイッチ(左)
ブラケットを
共締めすること
クランプを
共締めすること
カプラがはみ出さないよう
カバーをかぶせること

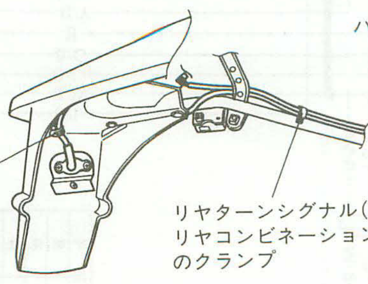

リヤターンシグナル(右)
ライセンスランプのリード線クランプ
サイドスタンドスイッチ
ニュートラルスイッチのリード線クランプ
マグネト・ストップ
ランプスイッチの
リード線クランプ
リヤターンシグナル(左)
リヤコンビネーションランプ
のリード線クランプ

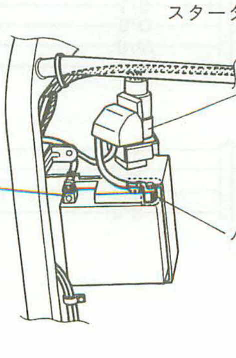

クランプ
組付基準
レギュレートレクチファイア


組付後，端子を下に曲げる
スタータモータ端子組付方向
35°～45°
5°～10°
エンジンアース端子組付角度

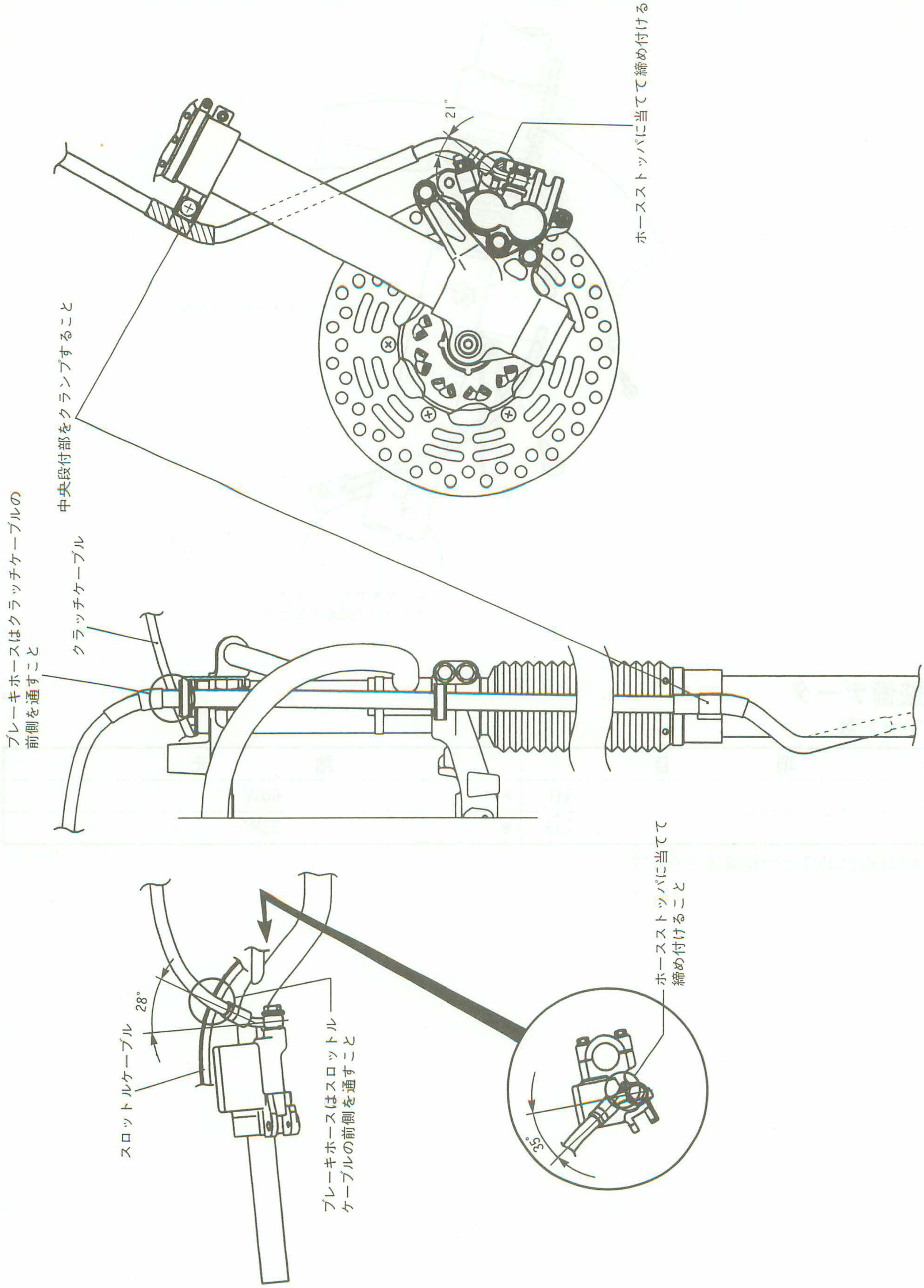

ワイヤリングハーネス
スロットルケーブルのクランプ
ストップランプスイッチ
のクランプ
サイドスタンドスイッチ
のクランプ


リヤターンシグナル(右)
ライセンスランプのクランプ

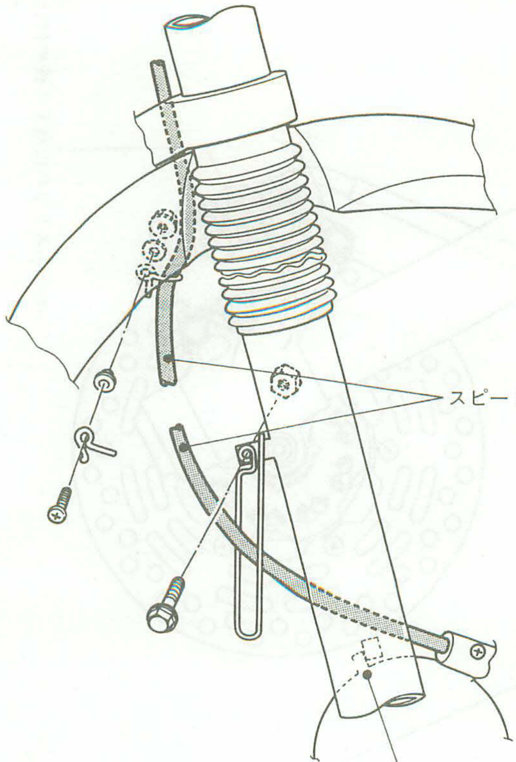

ライセンスランプ
のクランプ
リヤターンシグナル(左)
リヤコンビネーションランプ
のクランプ


スタータリレー及びフューズ
バッテリターミナル⊖
バッテリターミナル⊕

フロントブレーキホース組立図



スピードメータケーブル組立図



整備データ

ワット数

項　目		諸　元	
ヘッドランプ・バルブ	HI	＊	60W
	LO	＊	55W

＊はDR250RTとの相違箇所を示す。

追補版

SUZUKI サービスマニュアル

DR250R 低車高仕様

DR250RLV

概要 車歴

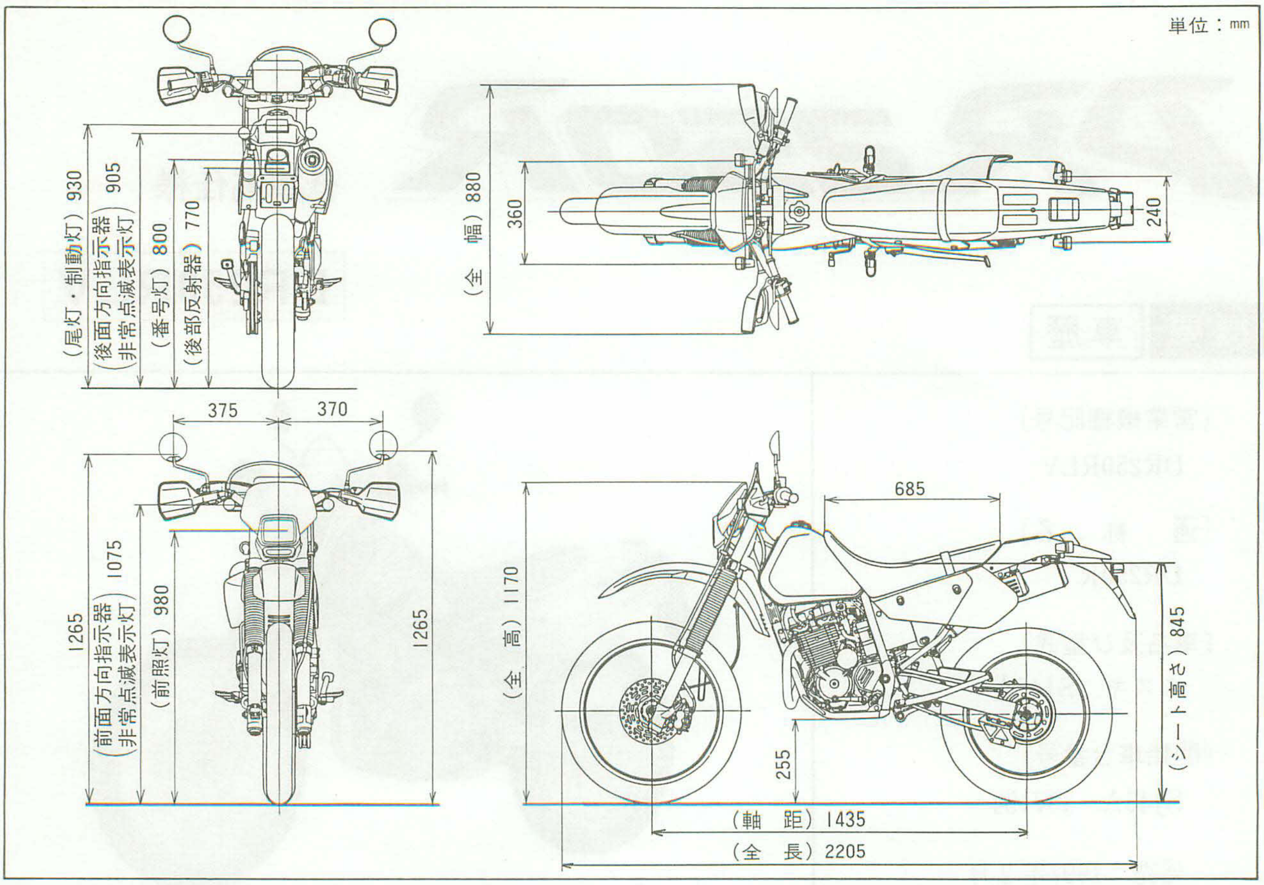
〔営業機種記号〕 DR250RLV 〔通　称　名〕 DR250R 〔車名及び型式〕 スズキ　SJ45A 〔開始車台番号〕 SJ45A－107154～ 発売：1997年２月	

DR250RVとの主な相違点

- 低車高仕様にしました。
- フロントフォーク及びリヤショックアブソーバを変更しました。
  それに伴い，スピードメータケーブル・プロップスタンドを変更しました。
- 類別を022としました。

この追補版はDR250RVとの主な相違点を記載しました。これ以外の部分についてはDR250RVのサービスマニュアルを参照してください。

外観四面図：DR250RLV



主要諸元

営業機種記号		DR250RLV	
通称名		DR250R	
認定番号		II-208	
車名及び型式		スズキSJ45A	
自動車等の種別		軽（二輪）	
軸距		＊ 1.435	m
原動機の型式		J425	
総排気量		0.249	ℓ
類別		＊ 022	
長さ		＊ 2.205	m
幅		0.880	m
高さ		＊ 1.170	m
車両重量	前軸重	60	kg
	後軸重	66	kg
	計	126	kg

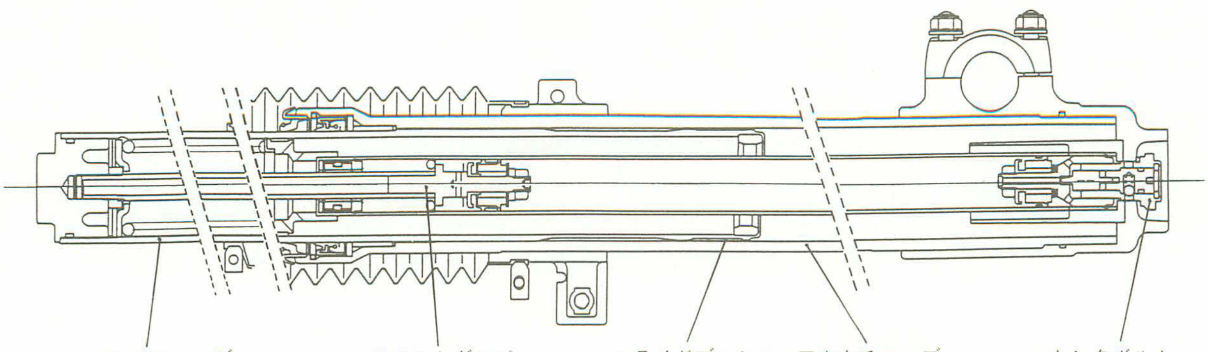
乗車定員		2	人
車両総重量	前軸重	87	kg
	後軸重	149	kg
	計	236	kg
最低地上高		＊ 0.255	m

＊はDR250RVとの相違箇所を示す。

サスペンション

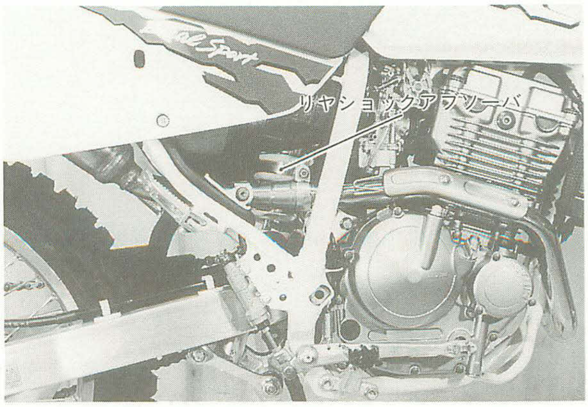
フロントフォーク

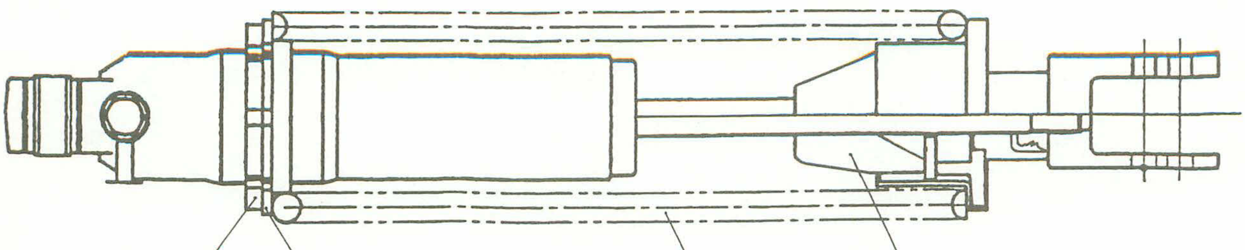
- フロントフォークの全長を短くしました。
- フロントフォークストローク：240mm



リヤショックアブソーバ

- リヤショックアブソーバを変更しました。
- リヤショックアブソーバの取り付け方法を変更しました。
- リヤホイールトラベル：245mm





整備データ

サスペンション

単位：mm

項　　目	標準値	使用限度	備　考
フロントフォークストローク	＊　240	―――	
フロントフォークオイルレベル (スプリング無し，最圧縮時，インナチューブ上端からの油面)	135	―――	
フロントフォークオイルの種類	SS－7		
フロントフォークのオイル量	538 mℓ		
リヤホイールトラベル	＊　245	―――	

＊はDR250RVとの相違箇所を示す。

メ　モ

追補版

SUZUKI サービスマニュアル

DJEBEL XC

DR250RXV
DR250RXLV
(低車高仕様)

概要　車歴

〔営業機種記号〕
DR250RXV

〔通　称　名〕
ジェベル250XC

〔車名及び型式〕
スズキ　SJ45A

〔開始車台番号〕
SJ45A－107264～

発売：1997年2月



〔営業機種記号〕
DR250RXLV

〔通　称　名〕
ジェベル250XC

〔車名及び型式〕
スズキ　SJ45A

〔開始車台番号〕
SJ45A－107414～

発売：1997年2月



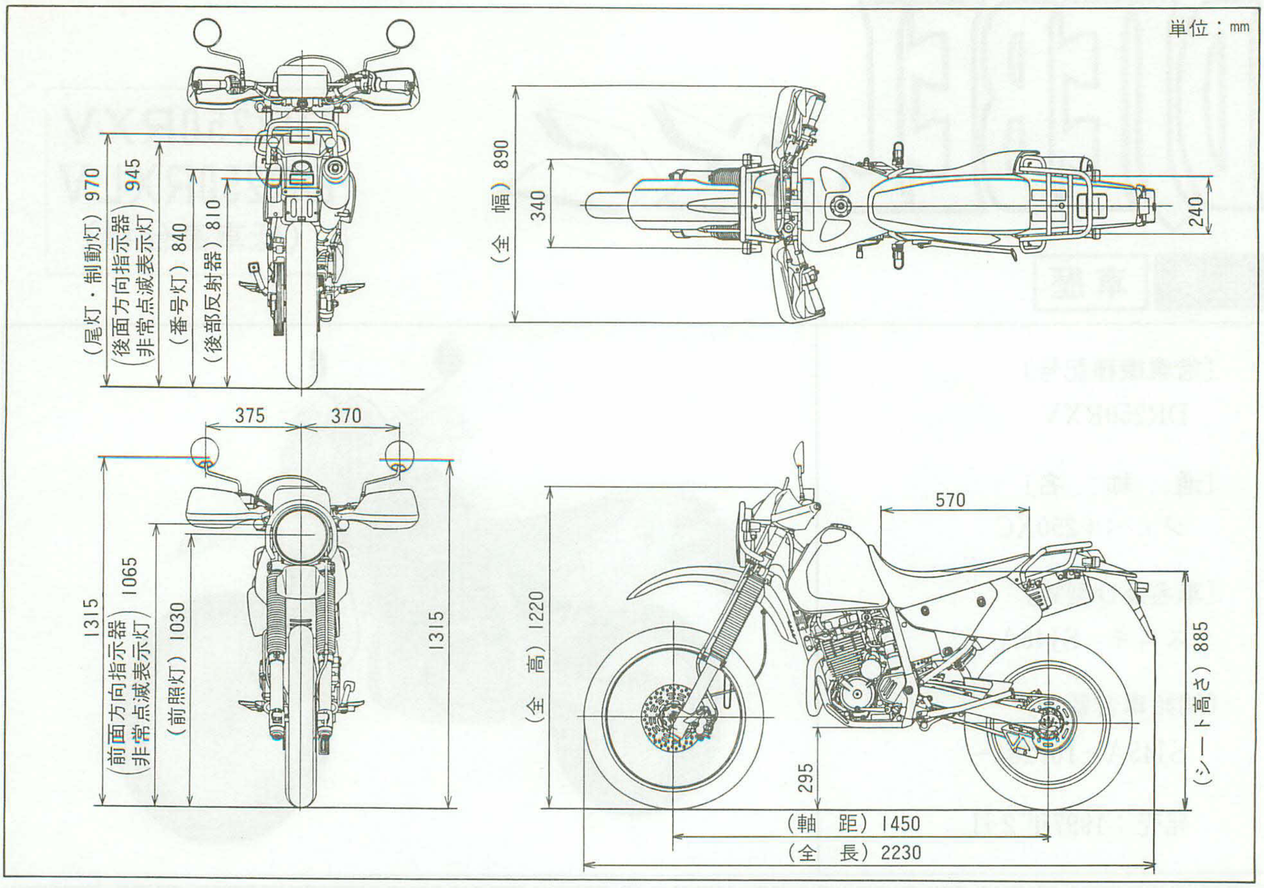
DR250RXTに対するDR250RXV及び DR250RXLTに対するDR250RXLVの主な相違点

- ●クラッチスイッチを装備しました。
- ●スタータモータ作動時，ヘッドランプ消灯機能追加のため右側ハンドルのスタータスイッチを変更しました。
- ●リヤビューミラーの形状を変更しました。
- ●デカールを変更しました。

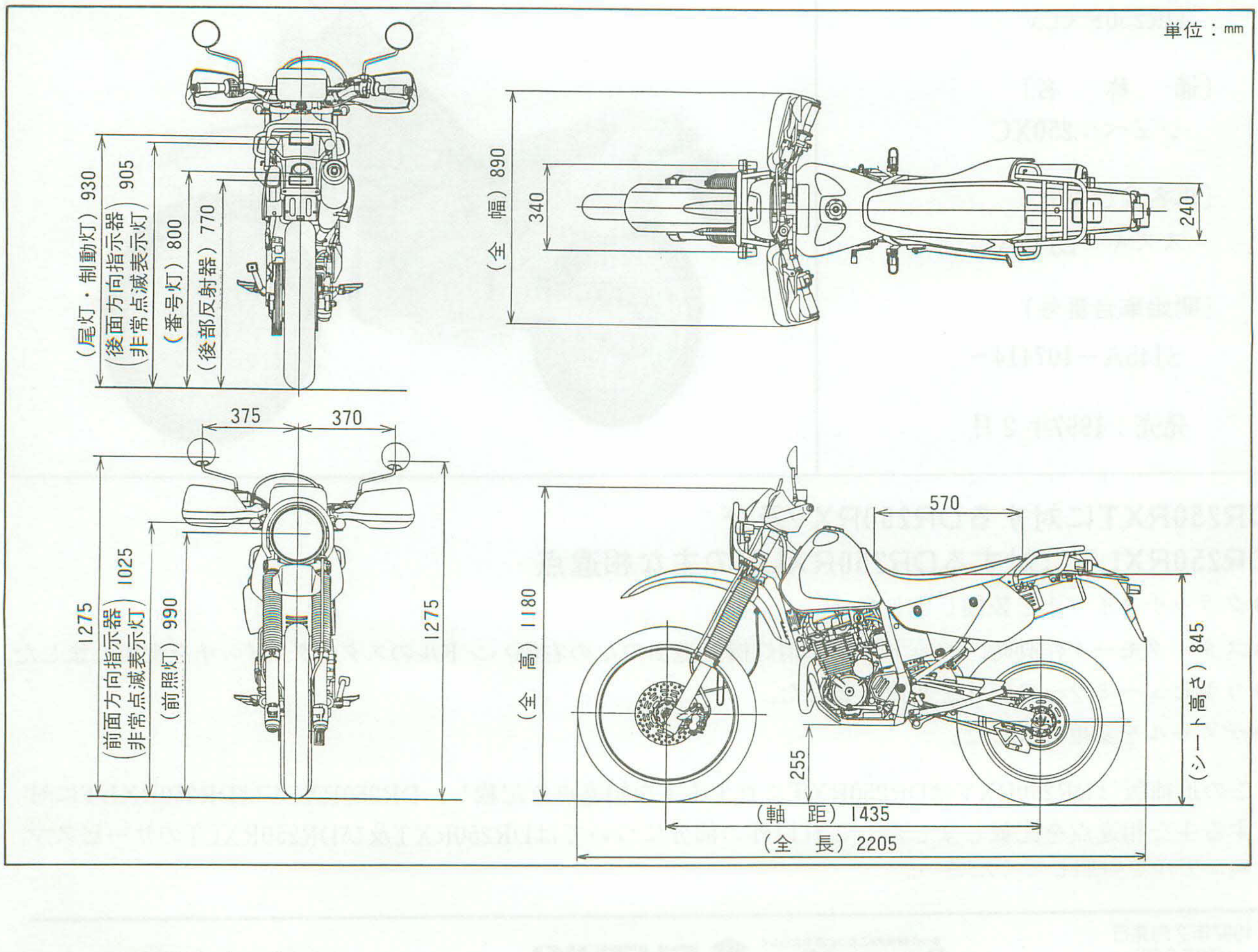
この追補版はDR250RXVはDR250RXTに対する主な相違点を記載し，DR250RXLVはDR250RXLTに対する主な相違点を記載しました。これ以外の部分についてはDR250RXT及びDR250RXLTのサービスマニュアルを参照してください。

1997年2月発行
(平成9年)

外観四面図：DR250RXV



外観四面図：DR250RXLV



解説

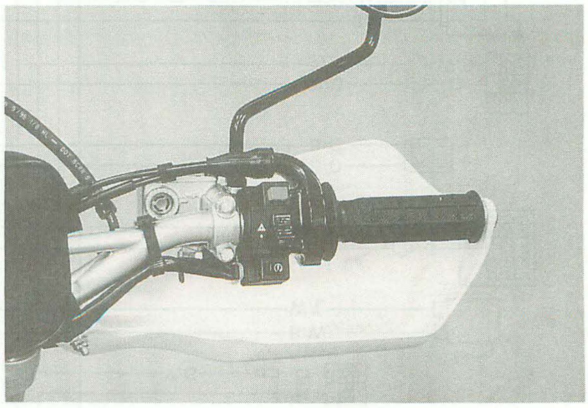
クラッチスイッチ

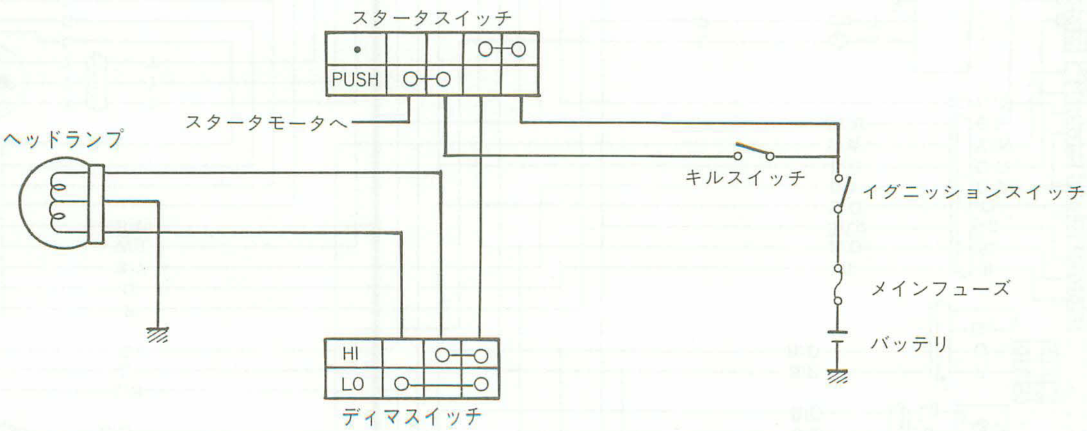
- 安全性向上の為に，クラッチスイッチを設けました。
- 通常，OFFの状態でクラッチレバーを握るとONになります。
- ギヤポジションにかかわらず（ニュートラルの時でも），クラッチレバーを握らなければスタータモータが回りません。



スタータスイッチ

- スタータモータ作動時ヘッドランプ消灯機能追加のため，スタータスイッチをONにするとヘッドランプへの電流をカットします。

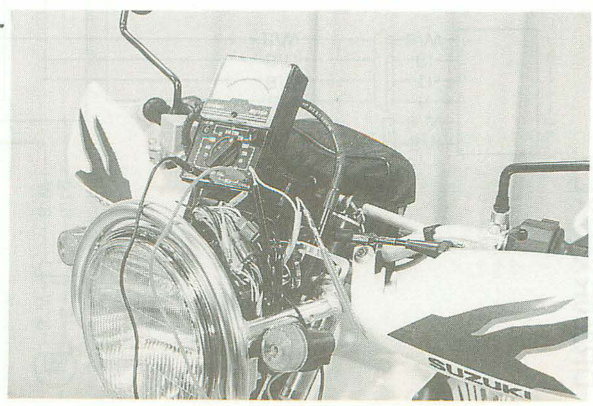




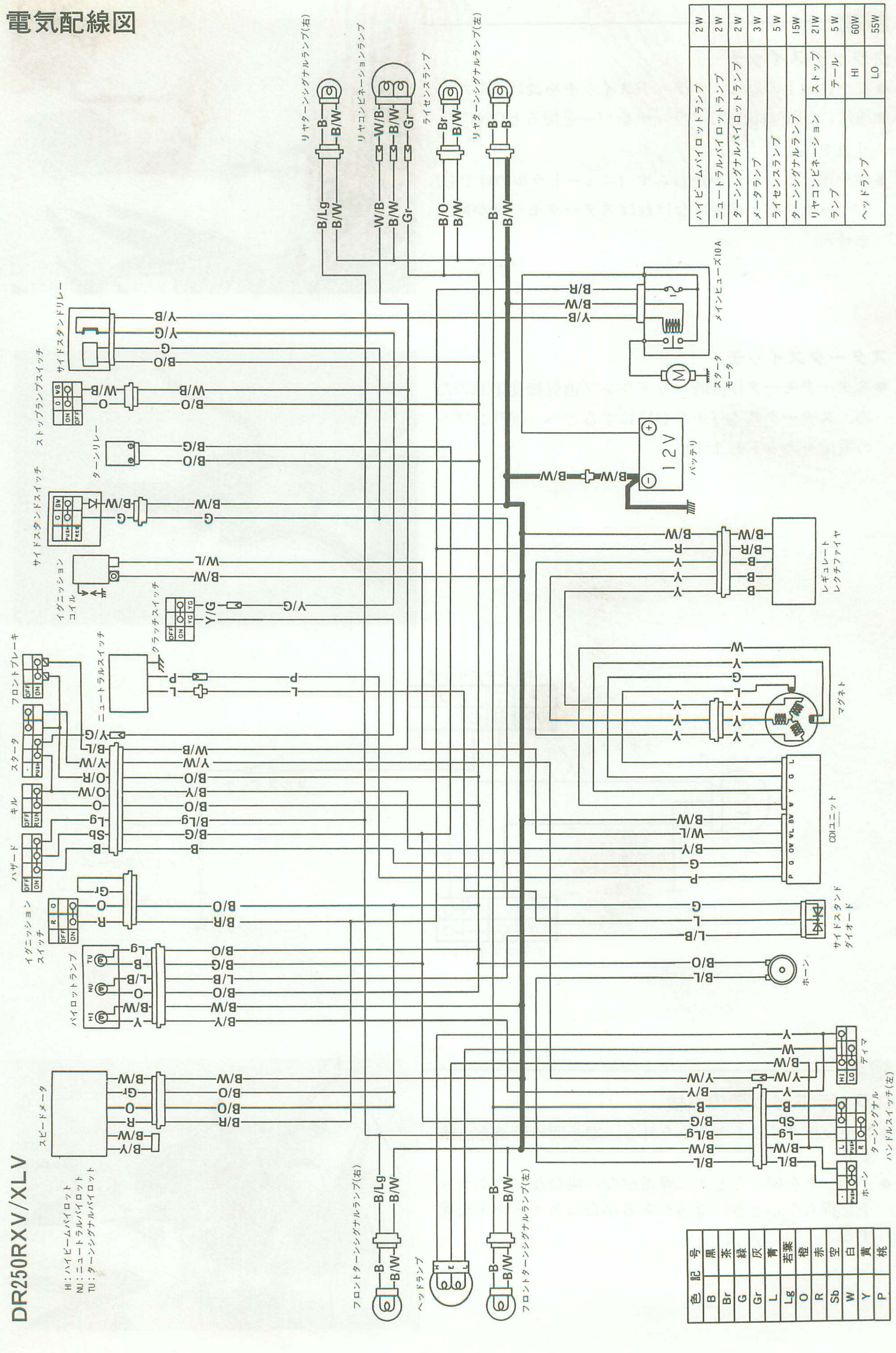
電装

クラッチスイッチの点検

- クラッチスイッチギボシを外し，端子間の導通を点検する。
- クラッチを握ったときに導通がない場合及び，クラッチを握らないときに導通がある場合はスイッチを交換する。



電気配線図



ハイビームパイロットランプ		2W
ニュートラルパイロットランプ		2W
ターンシグナルパイロットランプ		2W
メータランプ		3W
ライセンスランプ		5W
ターンシグナルランプ		15W
リヤコンビネーションランプ	ストップ	21W
	テール	5W
ヘッドランプ	HI	60W
	LO	55W

記号	色
B	黒
Br	茶
G	緑
Gr	灰
L	青
Lg	若葉
O	橙
R	赤
Sb	空
W	白
Y	黄
P	桃